

令和7年度第3回札幌方面南警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年12月12日（金）午後1時30分から午後2時50分までの間

2 開催場所

札幌方面南警察署2階道場

3 出席者

(1) 協議会委員 9人（定員10人）

石川康夫、藤木康仁、芦田由美子、伊藤和江、棚橋昭恵、久門修、高谷由美子、柏崎奈緒美、谷平順子

(2) 警察署員 6人

- | | |
|-----------|-------|
| ・署長 | 西村 和隆 |
| ・副署長 | 小山 友彦 |
| ・刑事・生活安全官 | 神成 清志 |
| ・地域官 | 横田 哲 |
| ・交通官 | 佐々木 智 |
| ・警務課長 | 水上 正志 |

4 協議会進行

- (1) 会長挨拶
- (2) 署長挨拶
- (3) 議事進行
- (4) 意見・要望
- (5) 次回の諮問事項

5 議題

(1) 南警察署業務説明

ア 犯罪等の発生状況等について（刑生官による説明）

（ア）主要刑法犯の認知・検挙状況について

（イ）主要事件の検挙概要

（ウ）特殊詐欺情勢

イ 交通事故等の発生状況等について（交通官による説明）

人身交通事故の発生状況

(2) 諮問事項

冬型交通事故の防止対策について（パワーポイント、DVD視聴）

- ・地吹雪、ホワイトアウトについて
- ・冬期間の視界不良について
- ・多重事故の発生状況、発生原因について
- ・発生が多い事故種別について
- ・事故発生時の対処法について

6 質疑応答

委員～南署の管内でもSNSを利用した多額の詐欺が発生していると報道されていますが、引き続き広報活動、注意喚起を行ってください。

回答～これまで行っている防犯講話、街頭啓発、金融機関やコンビニにおける訓練等については引き続き実施して参ります。なお、本年は管内に居住する子供たちの協力を得て、オリジナルの特殊詐欺啓発CDを作成して管内の商業施設内で放送しており、好評を得ております。

委員～リレー捜査とはどのようなものですか。

回答～警察が犯罪発生現場周辺などに設置された防犯カメラの画像を収集・分析し、犯行の状況や逃走する犯人の画像を精査する捜査であります。

当署でもリレー捜査によって、犯人の自宅を突き止めた事例があります。

委員～SNS等による誹謗中傷犯罪の実情が知りたい。

回答～SNSを利用した誹謗中傷犯罪という分類では集計を行っておりませんが、統計資料はありませんが、当署では若年層間で誹謗中傷をしたとの相談を数件認知しております。

委員～南区の話ではなくて申し訳ないのですが、北区、東区の創成川通沿い（札幌から石狩に向かう車線）の数か所に赤字で「右折車は→で」というような案内板が設置されておりますが、文字が消えていてはつきり見えません。

付近を通る度に気になってます。

回答～管轄である北警察署、東警察署へ情報提供し、対応を依頼しました。

委員～冬になると南区真駒内のパチンコひまわりと自衛隊官舎の間の道が積雪で狭くなり、車が行き交う時に接触事故が起きることがあります。

除雪自体は市役所の担当ですが、事故が起きてしまえば警察も関係してくると思いますので、パトロールの時に気を付けて道路状況を見て欲しいです。

回答～危険箇所を把握した際には、道路管理者とともに可能な限り対策を行います。

特に危険な箇所がある場合は、当署交通課まで連絡してください。

委員～子供の見守り活動を行っていますが、小学生が横断歩道において歩行者用信号が点滅した途端に急に走り出したことがあり、その時に交差点を左折して来た車が急加速したので、渡ろうとしていた小学生に注意したところ立ち止まったので事故は起きませんでしたが、歩行者がいるのに急に加速する車は危険で、同じようなことが月に数回ありました。

南区真駒内本町2丁目にある交差点は信号無視をする車が多いので、監視カメラを付けることはできないでしょうか。

回答～監視カメラの設置例はありませんが、交通事故防止には交通指導取締りやパトカーによる警戒活動が有効なため、警察官の姿をより多く見せることで交通事故の抑止に努めてまいります。

委員～冬季、環状通の南19条大橋から西方向、電車通との交差点付近で頻繁にスリップ事故を目撃します。

付近の道路は数年前からロードヒーティングが停止となっていることも原因の一つですが、ドライバーに対する注意喚起や砂撒きの要請を行って欲しいです。

事故処理をする警察官も危険だと思います。

回答～確認したところ道路管理者では予算削減に伴い、ロードヒーティングが停止している箇所が増加してるようです。

砂撒きについては、警察官が危険箇所を把握した場合だけではなく、通報を受けて道路管理者に要請することもできるため、危険な箇所を認めた場合は通報願います。

路面が凍結する道路で警察官が事故処理をする場合は、砂撒きを実施して対応するとともに、必要に応じて道路管理者に砂撒き要請をしております。

委員～2026年から自転車の違反の罰則が厳しくなるそうですが、その内容を教えてください。

回答～令和8年4月1日施行予定となり、警察庁の案として進められています。

その内容は、原動機付自転車と同等の反則金額が設定（点数はなし）される予定となっております。

例として携帯電話（保持）は12,000円、信号無視は6,000円、一時不停止は5,000円、通行区分（逆走、歩道通行等）は6,000円などとなっております。

委員～冬道になると事故が多発するなど注意する場所があれば教えて欲しい。

回答～交差点、トンネルの出入口、橋の上などは凍結しやすく危険です。

また、国道などの大きな道路より、一本中に入った道路は除雪が行き届いておらず、幅員が狭くなり、場所によっては勾配もあることから事故が起きやすい場合があります。

具体的な場所としては、南区川沿のイオン藻岩店周辺にあるパチンコ店のある丁字路交差点、南区澄川5条4丁目の澄川小学校付近の坂道、南区澄川5条13丁目の紅桜公園周辺のカーブのある道路などは比較的交通事故の発生が多く

なっています。

委員～イベント、コンサート時における会場周辺の迷惑駐車がひどいと感じます。
人の敷地に勝手に停めている車もあり、迷惑しています。

回答～警察では、主催者からの警備計画を確認し指導を行っているところでありますが、警備員の対応だけで不十分な場合は警察に通報してください。

委員～全国的に熊による事故が増加していますが、やはり地道な啓発活動を行うしかないと思っていますので引き続き注意喚起を行ってください。

回答～関係機関と連携しながら注意喚起を行います。

委員～毎日のように熊のニュースがあります。
頻繁に南区白川地区を車で通っていますが、熊に付近のリンゴの木からリンゴが食べられたという話も聞いたことがあるのでとても身近な場所で熊が出没していると思いました。

回答～11月25日に第5回札幌市ヒグマ対策委員会に出席して参りました。
今年は山の実なりの不作、親子熊の増加などが要因となり、出没が大幅に増加しております。
市内各所で駆除が行われ、南区の藤野地区においても駆除した事例があるほか、冬眠しない熊もいると聞いておりますので、警察は引き続きパトロールなどの警戒を行います。

委員～警察におけるA I活用について現状と方針などを教えて欲しい。

回答～令和7年度版の警察白書から4つご紹介します。
一つ目は、サイバーパトロールの高度化にA Iを活用しております。
例えば、規制薬物に関する情報等の探索・分析などに利用しております。
二つ目は、資料草案の作成などで、警察庁では警察内部のネットワークに生成A I環境を構築して活用しております。
三つ目は、子供からの聴取に関するA I訓練ツールの開発であります。
児童からの事情聴取は警察、検察、児童相談所等の機関が協議して、代表者が児童から聴取する取組を行っておりますが、児童の心情や特性に配慮した聴取技法を習得するために訓練が必要です。
そこで、より実務に近い訓練をするため、令和6年度にA Iを活用した訓練ツールを開発し、令和7年度から全国警察での運用を開始しております。
四つ目は、警察は指紋などをデータベース化した識別システムを運用しておりますが、いまだ人の手によって処理されている作業もあり、更なる高度化・効率化を図るために、令和6年度にA Iを活用して照合を行う実証実験を開始し、今後の運用に向けて検討を進めているところであります。
その他参考ですが、福岡県警のホームページでは落とし物や運転免許証などの「よくある質問」に対してA Iが回答する方式を採用しております。

7 次回の諮問事項

警察施設に関する説明など

委 員 署 名 欄
(会長)